

HIROO 社協だより

発行：社会福祉法人 広尾町社会福祉協議会
TEL 2 - 4110 / FAX 2 - 4258
ホームページ：<https://www.shakyo.or.jp/hp/162/>
Facebook：<https://www.facebook.com/hiroosyakyou/>
メールアドレス：webadmin@hiroo-shakyo.jp

“育てよう
広げよう
福祉の心”

介護職員初任者研修 修了式



☆今回の注目記事☆

- | | |
|---|---------|
| 1、令和 2 年度 事業計画について | 2 ページ |
| 2、令和 2 年度 資金収支予算について
事務局長就任挨拶、新職員紹介 | 3 ページ |
| 3、お互いさま ひろお通信 | 4・5 ページ |
| 4、コミュニティソーシャルワーカーについて | 6・7 ページ |
| 5、赤い羽根共同募金委員会からのお知らせ | 8 ページ |
| 6、高齢者勤労事業部からのお知らせ
行事用備品の貸し出し、ご寄付のお願い | 9 ページ |
| 7、ボランティアセンター（寄付について） | 10 ページ |



北海道社会福祉協議会
イメージキャラクター

社会福祉協議会では、地域の細かい福祉問題を取り上げ、保健、福祉関係機関、団体と連携をとり、町民相互の協力活動で解決しようとする民間団体です。在宅福祉サービスやボランティア活動の推進、高齢者、障害者、母子等全町民を対象に地域福祉活動を行っています。



社協だよりには共同募金の助成金の一部が使用されています。

令和二年度 事業計画について

広尾町社会福祉協議会長 軍 司 勝 裕

国においては、「地域共生社会」の実現を今後の福祉改革を貫く基本コンセプトに位置付けた政策が進められている。

「地域共生社会」とは、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながること、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会のことであり、これまで社協や福祉関係者等が進めてきた地域福祉推進の基盤整備と地域での実践をより一層地域住民に対して促進することが重要となってきました。

こうした施策の流れは、市町村による包括支援体制等を構築する試みであり、まさに、社協が取り組んできた方向性に合致し、社協への期待がますます大きくなる現われでもあります。各地域には社協に代わる組織も多数存在していることを認識し、地域住民と向き合い、こうした関係機関や組織とも連携・協働し、さらに広尾町と協議を図りながら危機感を持って課題に対応していくことが求められ、社協本来の事業である小地域福祉活動の充実・強化を図ることが重要です。

さらに、成年後見、生活困窮者支援などのあらゆる生活課題への解決力を高め、社協の存在意義を積極的に発信していく必要があります。こうした情勢を踏まえ、法人として公共性の高い広尾町社協は住民との対話により、福祉ニーズを住民と協働で考え、共に「豊かな福祉のまちづくり」に向けての役割を果たして行かなければなりません社会福祉協議会は現在の厳しい財政状況下にあっても、地域福祉のプロとして役員一人ひとりが意識をもち、「地域に伝えていく力」が必要であると考えます。

社協の「社会的価値」を高めるとともに、地域からそして住民から常に信頼される社協を目指して、事業を推進して参ります。

◎重点目標

- 1 在宅福祉事業の充実
- 2 地域ごとの共生社会の実現
- 3 ふれあいサロン事業の拡充

◎具体的な事業内容

1. 法人運営事業
 - (1) 生活福祉資金の貸付
 - (2) ボランティアポイント取扱い事務
 - (3) 社協だよりの発行(年2回)
 - (4) 法外援護資金の貸付
 - (5) 低所得者(歳末助け合い)への支援 12月
 - (6) 各種研修会参加
 - (7) 各種福祉団体所管事務局(老連・身障分会・母子会・遺族会・GB協会・ボ連・共募)
2. 福祉団体等の育成
 - (1) 身障分会活動推進助成
 - (2) 母子寡婦会活動推進
 - (3) 殉公遺族会活動推進助成
 - (4) ゲートボール協会活動推進
 - (5) 老人クラブ連合会活動推進助成
 - (6) 保護司会活動助成
 - (7) 民生児童委員協議会活動助成
 - (8) 各地区サロンの育成・助成
3. 地域福祉事業の実施
 - (1) 第28回福祉まつりの開催 9月
 - (2) 高齢者スポーツ大会の開催 10月
 - (3) ボランティア連協活動の推進
 - (4) レクリエーション教室の開催
 - (5) 小地域ネットワーク事業の推進
 - (6) 共同募金活動の推進
 - (7) 無縁仏供養祭の実施 8月
 - (8) 広尾町民へ弔電の発送
 - (9) 高齢者ふれあい昼食会の実施(2回)
 - (10) 生活支援コーディネーターの配置SC
 - (11) コミュニティソーシャルワーカーの配置CSW
 - (12) 介護職員初任者研修の実施
4. 福祉有償運送事業の実施
5. ホームヘルプセンターひろおの運営
6. デイサービスセンターひろおの運営
7. ケアプランセンターひろおの運営
8. 生活福祉資金等貸付事業
9. 総合相談支援事業 (受託事業)
10. 成年後見あんしんセンター事業 (受託事業)
11. 軽度生活支援事業 (受託事業)
12. 転倒骨折予防教室事業 (受託事業)
13. 高齢者生活支援ハウス「なごみ」の運営 (受託事業)
14. 介護予防・福祉サービス利用援助事業 (受託事業)
15. 高齢者勤労事業部の事業 (公益事業)
16. その他福祉活動推進事業

令和2年度 広尾町社会福祉協議会収支予算書

(単位：千円)

勘定科目		本年度予算	前年度予算	差額	
事業活動収入	会費収入	1,486	1,478	8	
	寄附金収入	500	500	0	
	経常経費補助金収入	19,463	26,506	△7,043	
	受託金収入	36,331	39,621	△3,290	
	事業収入	17,660	17,360	300	
	負担金収入	325	309	16	
	介護保険事業収入	88,211	88,835	△624	
	障害福祉サービス等事業収入	10,093	9,705	388	
	受取利息配当金収入	10	10	0	
	その他の収入	11	11	0	
	事業活動収入計(1)	174,090	184,335	△10,245	
	事業活動支出	人件費支出	128,465	139,317	△10,852
		事業費支出	29,827	29,052	775
事務費支出		15,663	16,005	△342	
共同募金分配金事業費		1,200	1,200	0	
助成金支出		2,224	2,314	△90	
負担金支出		390	372	18	
事業活動支出計(2)		177,769	188,260	△10,491	
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)		△3,679	△3,925	246	
施設整備等収支	収 施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	畜 施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		0	0	0	
その他の活動収支	収 その他の活動収入計(7)	400	200	200	
	畜 その他の活動支出計(8)	5	5	0	
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)		395	195	200	
予備費支出(10)		716	270	446	
当期資金収支差額(11) = (3) + (6) + (9) - (10)		△4,000	△4,000	0	
前期末支払資金残高(12)		34,000	34,000	0	
当期末支払資金残高(11) + (12)		30,000	30,000	0	



事務局長 櫻井 宏明
 この度、4月1日より事務局長に就任致しました。思えば平成6年に入職以降、デイサービスの相談員を皮切りに介護保険制度が導入されてからは、ケアマネジャーとして主に現場の業務に従事してきました。
 又、平成28年からはCSWとして、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組みました。
 そうした経験を活かしながら、今まで以上に地域の皆様に信頼される社協づくりに励んで参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



就任あいさつ

コミュニティー ソーシャルワーカー 花川 菜々
 この度、社会福祉協議会に入職しました花川菜々です。地元は豊似で、結婚を機に広尾町に帰ってきました。それまでは札幌にある北星学園大学を卒業後、社会福祉士を取得し、音更宏明館病院の医療ソーシャルワーカーや、豊似にあるグループホーム広尾ふれあい館2で働いていました。今回、コミュニティーソーシャルワーカーとして働くのは初めてになりますが、社会福祉協議会では、地域福祉の推進を図り、「見守り・発見・相談からサービスのつなぎ」をする役割を担います。
 「こんな相談しても良いの？」といったどこに相談したらよいのかわからない悩みや困りごとも構いません。なんでも気軽ににご相談してください。
 また地域で開催される会議や研修、ボランティア活動や地域のサロンにも参加していきますので、皆さん気軽にお声掛けいただければと思います。力不足で地域住民の皆さんにご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、頑張りますのでご指導宜しくお願い致します。



新職員紹介

生活支援体制整備事業

お互いさま ひろお通信

「地域づくりから育つひろおの支え合い」

第 12 号 2020 年 2 月



固く結ばれた男の友情 被災地でも輝く 2 人の絆

お互いのことを「すすむ」「としおちゃん」と呼び合う 2 人の男性。名前は久保進さんと箕島利雄さん。2 人は昨年 9 月の台風 19 号で被災した宮城県丸森町にてボランティア活動を行いました。今回はボランティア活動のことを伺うと、**2 人の素敵な関係性**が見えてきました。

2 人は青年時代から畜産業に携わり、当時は顔を合わせたら挨拶をする程度でした。交流が深まったのは、久保さんが仕事を辞め、時間に余裕ができたタイミングで、箕島さんが釣りに誘ったのがきっかけです。

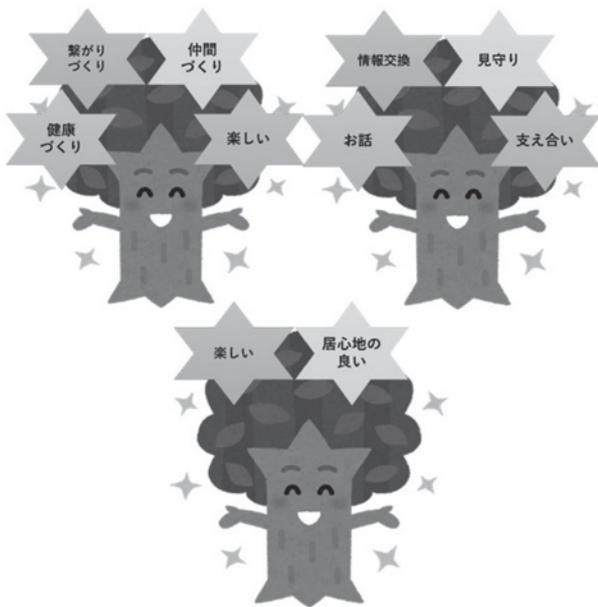
「仕事を辞めてすぐに誘ってくれたから、体力が落ちることなく始めることができた。毎年受けている健康診断の結果も、ここ 10 年では 1 番良かった」と久保さんは話してくれました。2 人の交流が始まってからは、知床に行ったり松前にマグロを釣りに行ったりしているとの事でした。箕島さんは「以前から釣りに行っていたが、こんなに遠出することはなかった」と言います。

さらに、釣りの打ち合わせ、釣りが終わった後には釣果を久保さんの携帯に記録する為に**毎日電話**をしているそうです。「そういうば今日電話していいかと思いつつソファーに座ったら電話がかかってきたことがあった」というのに対し「まさ**に以心伝心だな**」と笑いながら話をしてくれました。

2019 年 10 月、台風 19



2 人の絆に育っていた実



号が日本を襲いました。被災した地域の様子を見て、「アキアジ釣りで遊ばせてもらったから、自分たちに何かできる事があれば力になりたい」と思い立ち、情報を調べずぐに行動に移しました。

現地に着いてからは 4 日間、主にダンプカーや軽トラの運転手として、災害ゴミや泥を片付けました。帰宅の際、そのまま広尾に帰るのは少し寂しいという事で、丸森町に戻って募金をしてきたそうです。

今回のボランティアについて「**すすむ(としおちゃん)じゃなかったら行かなかったかもしれない。災害がないのが 1 番だけど、もしもの時はまた行きたい**」とのことでした。

今回取材しているときも、2 人の仲の良さが伺えました。これからも、男の友情を大事に楽しい時間を過ごしてほしいと思います。

生活支援体制整備事業

お互いさま ひろお通信

「地域づくりから育つひろおの支え合い」

第 13 号 2020 年 4 月



異国の地で生まれる安心感 お菓子作りから見えたこと

今回は、以前にレクダンスの会で登場した中野さやかさんにご紹介いただき、町内で生活しているジェニファー・サンダースさんとお菓子作りの場でお会いしました。

会場にはジェニファーさんと中野さんの他に楊秀琴さん、トビー・バリーさん、そして「お互いさま ひろお」のメンバー 3 名を加えた計 7 名が参加していました。

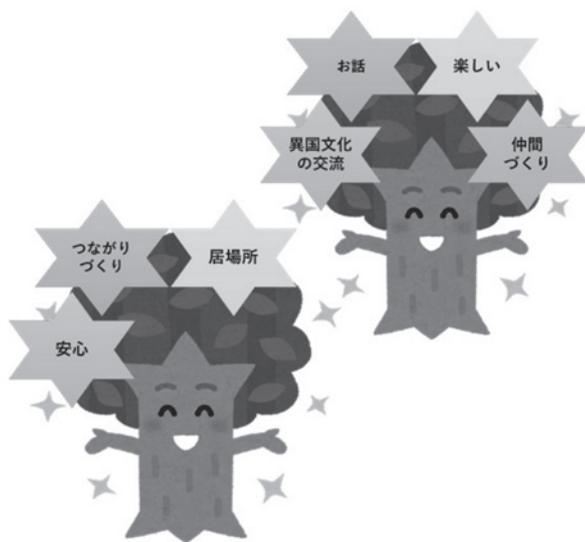
今回作ったのは、チョコレートとピクルスとハンバーガーです。それぞれの国柄や文化の違い（ハンバーガーに玉ねぎを入れないなど）を感じながら楽しく交流が図れました。

会食中ジェニファーさんに話を伺うと、お仕事は学校で英語を教える A L T をされており、広尾には 2 年前に就任し、前任地は新ひだか町にお住まいだったそうです。

中野さんと知り合ったきっかけは一緒に参加している楊さんを通じてでした。この時に中野さんが卒業した学校が、ジェニファーさんが広尾に来る前に働いていた学校と同じという事が分かり一気に距離が縮まりました。その後、本日作ったハンバーガーと一緒に作ったことによって仲が深まっていきます。



お菓子作りに育っていた実



ジェニファーさんは中野さんとの出会いを「楊さん以外に英語を話せる人がいて安心した」と振り返ってくれました。その理由として、「役場やお店に行ったときに少しでも英語で対応してくれたり、挨拶も気軽にしてもらえたら嬉しい。私のことをわかってもらう姿がある」と安心する」と話してくれました。

2 人は決して特別なことをしているわけではありませんが、異国の地で生活するジェニファーさんにとっては、この何気ないつながりが「安心した」という発言に繋がっていると思います。

中野さんは今回この会を開催するにあたって「せっかく開くなら「お互いさま ひろお」のメンバーも巻き込んでつながりを広げたい」と呼びかけてくれて、3 名のメンバーが集まりました。このような積み重ねが支え合いの基盤でもある、つながりづくりになると思いますし、このつながりはかけがえのない宝物だと思います。

お互いさまひろお通信のバックナンバーはホームページでも公開しています。

ホームページアドレス

<https://www.shakyo.or.jp/hp/162/>

発行：広尾町社会福祉協議会（川原） 2-4110

広尾町の皆さん、 何か困りごとありませんか？

はじめまして、
広尾町社会福祉協議会
コミュニティソーシャルワーカーの

花川 菜々です！！



広尾町では地域福祉の推進を図るために平成 28 年度から、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、「見守り・発見・相談からサービスのつなぎ」をする役割を担っています。

地域において生活上の課題を抱える方や家族に対する支援も含め、それらの人々が暮らす生活圏の環境整備や住民同士の繋がり作りといった地域支援を行っています。

どこに相談したら良いかわからない。こんな相談しても良いの？
といった悩み事やお困りごとがありましたらまずはお相談ください！！



介護の相談



家族がひきこもり



子育てが不安・辛い



障がいのある方が利用できる制度は？



就職の相談をしたい



近所のごみの問題



生活するお金がない



誰でも良いから話を聞いてほしい



地域のために何かしたい

こんな場合はお気軽にご連絡を！！ 裏面へ➡

特別養護老人ホーム

グループホーム



デイサービス

老人ホーム



119番

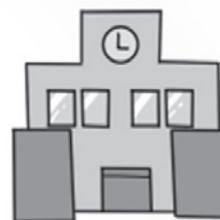
110番



病院・クリニック



支え合い
つながり



学校



役場



社協



ボランティア



地域住民

皆さんの一言が、地域の支え合いの輪を作ります！！

相談機関：社会福祉法人 広尾町社会福祉協議会

住所：広尾町公園通南4丁目1番地

相談時間：8時30～17時15分（土日祝を除く）

電話：2-4110

FAX：2-4258

E-mail：hanakawa@hiroo-shakyo.jp

担当者名：CSW 花川 菜々



赤い羽根共同募金結果報告

～共同募金へのご協力をいただき、大変ありがとうございました～

令和2年3月31日現在

令和元年度の赤い羽根募金運動は、町民の皆様のご理解とご協力に支えられ、1,928,993円の募金が集まりました。募金実績及び令和2年度の助成額が決定致しましたので次の通りご報告致します。

(募金期間：10月1日～11月30日)

○募金実績 1,906,565円

(前年比 -32,138円↓)

募金内訳：戸別募金 850,711円、街頭募金 149,454円、大口募金 906,400円

- ・社会福祉協議会事業費助成 1,346,565円
(ボランティアの育成、町民や高齢者を対象とした事業 など)
- ・共同募金委員会運営費補助 234,000円
(募金封筒作成費、PR広報費、募金資材代、地方共募維持管理費 など)
- ・全道的な助成 326,000円
(道内の福祉施設整備事業、福祉車両購入事業、社会貢献活動 など)

皆様から寄せられた募金は先の通り使われています。



※人件費や謝礼・報酬等には使用されていません。
全額地域の社会福祉向上の為に使用されています。

共同募金に関してもっと詳しく知りたい方は下記ホームページをご利用ください。

- ☆共同募金会 <http://www.akaihane.or.jp>
- ☆北海道共同募金会 <http://www.akaihane-hokkaido.jp>
- ☆赤い羽根データベース「はねっと」 <http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>



歳末たすけあい募金



(募金期間：12月1日～15日)

皆様からお寄せいただきました歳末たすけあい募金は、昨年12月24日に配分委員会が開催され、12月26日に共同募金委員会辻田廣行会長、社会福祉協議会軍司勝裕会長、他役職員にて配分が決定した各世帯へ皆様の善意としてお届け致しました。

○歳末たすけあい募金の結果は下記の通りとなりましたので、ご報告致します。

△▽△歳末たすけあい募金実績△▽△

収入	本年度募金実績	947,766円
	前年度繰越金	537,108円
	合計金額	1,484,874円
支出	募金経費	42,674円
	配分決定額	730,000円
	合計金額	772,674円
	翌年度繰越金	712,200円

□配分内訳□

- ・町内要保護世帯 34世帯 730,000円
(生活保護受給世帯を除く)

※歳末配分委員会で検討した結果、上記の通り配分を行っています。



あたたかい善意ありがとうございます

社会福祉協議会ボランティアセンターへ

(令和元年8月1日より令和2年3月31日受付分まで)

《物品預託》

- ・ 匿名 タオル多数
 - ・ 北海道コカ・コーラボトリング 様
清涼飲料水 10箱
 - ・ 山崎秀子 様／井原千恵子 様
タオル多数
 - ・ 匿名 ポータブルトイレ
 - ・ 匿名 タオル多数
 - シャワーチェア
 - ポータブルトイレ
- (以上 デイサービスセンターへ)

《社協指定寄附》

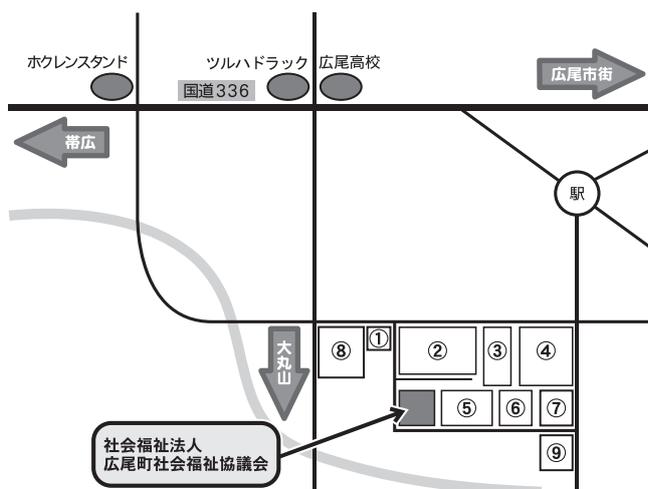
- ・ 岡本 宏 様 100,000円
- ・ 茂寄もみじクラブ 様 24,175円
- ・ 村野 一郎 様 50,000円
- ・ 広尾中学校生徒会 様 7,863円
- ・ 広尾高校 様 3円
- ・ 広尾ダンス愛好会 様 5,000円

《あなたの善意を地域の社会福祉のために》

広尾町社会福祉協議会では、皆様の善意により幅広い福祉活動に取り組んでおります。お寄せいただく寄附金は、身近な福祉に役立てられます。**結婚・出産・全快祝い・会社の創立記念・喜寿・米寿等のお祝い・並びに葬儀等の香典返し**にかえて社会福祉のために是非ご協力ください。

※ご寄附は所得控除の対象となります。ご協力いただける方は、社会福祉協議会までご連絡ください。

■□■ 案内 図 ■□■



1. サンタ薬局
2. 広尾町国保病院
3. 広尾町健康管理センター
4. 広尾町老人ホーム「かもめ」
5. 広尾町特別養護老人ホーム「つつじ苑」
6. 広尾町生活支援ハウス「なごみ」
7. (旧) 広尾丸山保育所
8. 帯広保健所広尾支所
9. (旧) ひろお幼稚園

社会福祉法人 広尾町社会福祉協議会
〒089-2622

北海道広尾郡広尾町公園通南4丁目1番地
デイサービスセンターひろお内

TEL 01558-2-4110

FAX 01558-2-4258

E-mail webadmin@hiroo-shakyo.jp

HP <https://www.shakyo.or.jp/hp/162/>

Facebook <https://www.facebook.com/hiroosyakyo/>

デイサービスセンターひろお (通所介護)

TEL 01558-9-0666

ケアプランセンターひろお (居宅介護)

TEL 01558-9-0700

ホームヘルプセンターひろお (訪問介護)

TEL 01558-2-4110

町受託運営施設

広尾町高齢者生活支援ハウス「なごみ」

〒089-2622

北海道広尾郡広尾町公園通南4丁目5番地

TEL 01558-2-0753



この社協だよりは共同募金配分金の一部が使われています。